

こうた議会だより

138号

2010.10.28発行

愛知県幸田町議会



平成21年度決算

- 税減収 借金して積立て15億 2
- 町議会16人でスタート 5
- 耐えるだけの町政でいいのか 6
など8人が一般質問
- あい・らぶ・マイタウン 18
『人がつながる幸田町』
『楽しくきれいな町に』



のこった のこった
(鷺田神明宮)

借金し積立て15億

歳立金を15億8101万円おこない、年度末残額を66億4285万円とし、長引く経済不況にそなえました。なお、平成21年度の決算総額は、一般会計、特別会計を合わせて、歳入209億4435万円、歳出200億7926万円となりました。

なかでも繰入金が20年度比約2億円（622・5%）の大幅増となたのは、新駅設置事業の本格化により、都市施設整備基金から繰入れしたものであります。出では、新駅周辺整備事業、給食センター移転改築事業、新駅および自由通路設置事業など、補助事業が計画どおり実施されました。

入は、町税の個人分はほぼ20年度並みでありましたが、法人分は自動車関連企業をはじめとする主要企業が、業績不振となり、全体として20年度比6億7667万円（7・8%）減少しました。

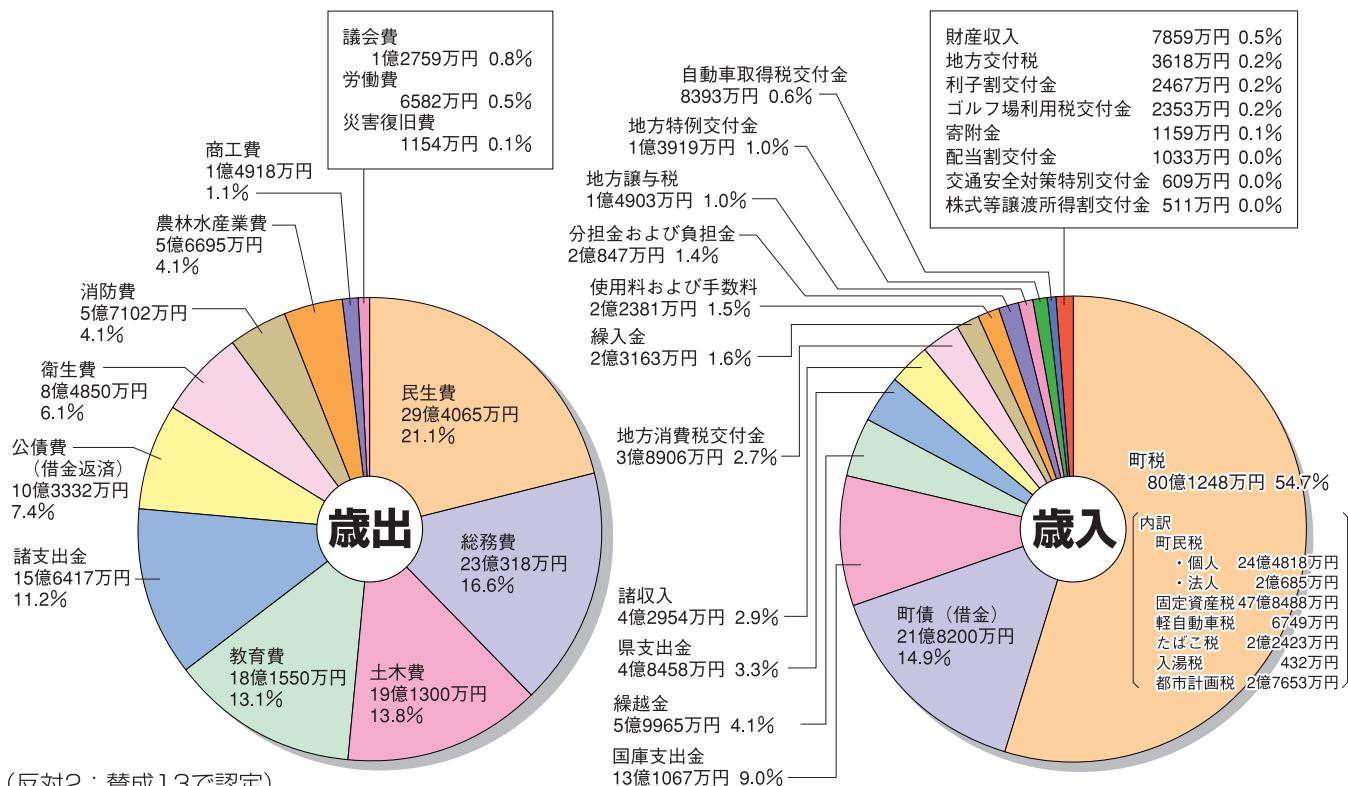
なかでも繰入金が20年度比約2億円（622・5%）の大幅増となたのは、新駅設置事業の本格化により、都市施設整備基金から繰入れしたものであります。出では、新駅周辺整備事業、給食センター移転改築事業、新駅および自由通路設置事業など、補助事業が計画どおり実施されました。

なかでも繰入金が20年度比約2億円（622・5%）の大幅増となたのは、新駅設置事業の本格化により、都市施設整備基金から繰入れしたものであります。出では、新駅周辺整備事業、給食センター移転改築事業、新駅および自由通路設置事業など、補助事業が計画どおり実施されました。

今定例会は、平成21年度の決算を審議するため特別委員会を設置、一般会計のほか特別会計、水道事業会計など慎重に審議した結果、各会計とも原案どおり認定しました。

一般会計の決算額

歳出 139億1042万円 **歳入** 146億4013万円



(反対2：賛成13で認定)

平成21年度決算 税減収

将来にそなえ

主な質疑

- Q** 個人町民税の予算把握と収入済額の差が、過去最大となつたが、適格な見積りを。
A 税収入の見込み誤りがあつた。留保財源づくりの意図はない。
- Q** 特別交付税が今回増となつた理由は。
A 緊急経済対策が、年度末になり、間に合わなかつたので、補正で対応した。
- Q** 町税の滞納整理対策は。
A 個々の事情を勘案し対応していく。
- Q** 救急車と消防車が、同時に出動する基準は。
A 心肺停止など重症や、3階以上に搬送者がいる場合、また交通整理を必要とする場合などに出動する。
- Q** 女性消防クラブの成果は。



開通した野場横落線（地蔵堂地内）

▲ 消防署員と一緒に一人暮しの高齢者宅を訪問をしている。

主な事業

▲	農地災害の指定寄付金は、廃止すべきである。	▲	農業施設の負担はないが、農地は土地改良区が施行し、町が9割の補助をしているので廃止の考えはない。	▲	新駅周辺整備事業 2億8815万円
▲	緊急通報のシステムの利用状況は。	▲	緊急通報のシステムの利用状況は。	▲	給食センター移転改築 2億7342万円
▲	96人設置している。	▲	96人設置している。	▲	新駅および自由通路設置 2億3426万円
▲	農業施設の負担はないが、農地は土地改良区が施行し、町が9割の補助をしているので廃止の考えはない。	▲	農業施設の負担はないが、農地は土地改良区が施行し、町が9割の補助をしているので廃止の考えはない。	▲	町民会館借地解消 2億3426万円
▲	救助工作車更新	▲	救助工作車更新	▲	事業 2億3426万円
▲	道路新設改良 (野場横落線) 8897万円	▲	道路新設改良 (野場横落線) 8897万円	▲	町民会館借地解消 9594万円

特別会計・企業会計の決算額

会計名		歳入	歳出	採決の状況
特別会計	土地取得	4億6078万円	4億3601万円	全員賛成で認定
	国民健康保険	26億7044万円	26億2467万円	反対2：賛成13で認定
	老人保健	735万円	538万円	反対2：賛成13で認定
	後期高齢者医療	2億3394万円	2億3305万円	反対2：賛成13で認定
	介護保険	12億2953万円	12億661万円	反対2：賛成13で認定
	幸田駅前土地区画整理事業	3億8044万円	3億5954万円	全員賛成で認定
	農業集落排水事業	4億4161万円	4億3391万円	反対2：賛成13で認定
	下水道事業	8億8013万円	8億6966万円	反対2：賛成13で認定
企業会計	水道事業会計	収益的収支 6億6543万円	6億1660万円	反対2：賛成13で認定
		資本的収支 1億6549万円	4億1711万円	

9月定例会は、10日に招集され、10月4日までの25日間の会期で開かれました。財政健全化判断比率などの報告1件、副町長の選任をはじめ人事案件4件、職員の給与に関する条例等の一部改正など4件、補正予算9件、21年度決算認定10会計の議案が上程され、可決認定しました。

そのほか、陳情一件を審議し採択しました。議員提出議案1件が提案され、可決しました。

一般質問は、8人が当面する町政の問題をただしました。



整備が望まれる生活道路

9月の定例会あります

生活道路整備ほか 9000万円追加

一般会計補正予算

・広田川橋梁改修工事	130万円
・相見地区3公園植栽工事	1728万円
・坂崎小学校図書購入	100万円
・幸田小学校図書購入	100万円
・生活道路整備工事	3000万円

特別会計補正予算

土地取得特別会計

5075万円

ハッピーネス・ヒル・幸田代替用地取得で借地解消を目的とするもの

国民健康保険特別会計

216万円減

老人保健特別会計

198万円

後期高齢者医療特別会計

88万円

介護保険特別会計

2586万円

下水道事業特別会計

0円

幸田駅前土地地区画整理事業特別会計

0円

農業集落排水事業特別会計

0円

副町長

成瀬 敦氏(鷲田区)

(全員賛成で同意)

固定資産評価員

成瀬 敦氏(鷲田区)

(全員賛成で同意)

教育委員

谷川 章義氏(高力区)

(全員賛成で同意)

固定資産評価審査委員

浅井 進氏(坂崎区)

(全員賛成で承認)

陳情

陳情者 幸田町教員組合

執行委員長 鋤柄伊左雄

(全員賛成で採択)

火災予防条例の 一部改正

A 特別な時期は体制がとれない。月60時間以上は産業医による健康診断をおこなっている。

Q 時間外の縮減と健康管理は。

A 22年度の4月から8月まで選挙事務などで18人。

勤務手当の支給割合を、現行100分の125から100分の150に引き上げる。また、時間外手当の加算を代休にすることでもできる。

職員の時間外勤務手当の引き上げ

の重要性を説明し設置に努めていく。

人事案件

副町長

成瀬 敦氏(鷲田区)

(全員賛成で同意)

固定資産評価員

成瀬 敦氏(鷲田区)

(全員賛成で同意)

教育委員

谷川 章義氏(高力区)

(全員賛成で同意)

固定資産評価審査委員

浅井 進氏(坂崎区)

(全員賛成で承認)

陳情

陳情者 幸田町教員組合

執行委員長 鋤柄伊左雄

(全員賛成で採択)

議員提出議案

A 町内では69・5%の設置状況である。県内は72・9%であるので、そ

Q 一般住宅や共同住宅などへの火災警報器の設置状況は。

30人以下学級の実現と義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書の提出

(全員賛成で可決)

このたびの町会議員補欠選挙には、地元の皆さまはじめ、多くの町民の方々の温かいご支援により、当選させていただき、責任の重さを感じ、身の引き締まる思いであります。今後の議員活動は、「町民の皆さまの声を町政に」

をモットーに一生懸命働いていきます。幸田町の将来を見据え、町民の皆さまが安全で安心して住める町づくりに取り組んでいます。今後とも、皆さまのご支援とご指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。

このたびの町会議員補欠選挙には、地元の皆さまはじめ、多くの町民の方々の温かいご支援により、当選させていただき、責任の重さを感じ、身の引き締まる思いであります。今後の議員活動は、「町民の皆さまの声を町政に」

安全・安心して 住める町づくり



浅井武光 [63歳]
坂崎区 (新)

町議会 16人でスタート

去る8月22日におこなわれた議会議員補欠選挙により、欠員となっていました2人の議員が決まりました。

常任委員会の所属は、山本隆一議員が文教福祉委員会、浅井武光議員が総務委員会となりました。

幸せな町づくり 奉仕の精神で



山本隆一 [78歳]
高力区 (元)

任期満了に伴う町長選で当選した大須賀一誠町長は、9月議会開会日に所信を表明した。

大須賀町長

所信を表明

このたび町民の皆さまの温かいご支援により、27年振りに議会に送っていただきました。

大須賀一誠新町長とともに財政の改革、事業仕分けの徹底による無駄の排除、老人の生きがいと健康的の町づくり。

子どもたちが未来に羽ばたく町へ明るい幸せな暮らしづくり。地域のバランス＝町内全域の公平で平等なバランスのとれた町づくり。

副町長は内部から登用



大須賀一誠 町長

「愛する幸田町を幸せな町にするために」一步先の幸田町を実現するため、必要な事業は積極的に推すすめ、見直すべきは見直し、時代の変化に対応する行政運営を目指します。町民の皆さまとともに力を合わせて全力で取り組みます。

前総務防災課長の成瀬敦氏（53歳）が登用された。



成瀬 敦 副町長

町長がすすめるさまざまな政策の実現と、町民本意の行政推進に向けて、誠心誠意全力を尽くしてまいりますと同時に、本町が抱える多くの課題解決に向け、職員一丸となつて取り組んでまいります。

町づくりの 考え方?

問

耐えるだけの町政でいいのか

答

バランスのよい運営すすめる



伊藤 宗次 議員

問 豊かな行政経験を訴え町長になられ、所信表明では、一步先の幸せのまちを実現できます。その具体的な内容とプロセスは。

当分の間、町民には我慢だと。その当分の間はいつまでか。

行革でピンチをチャンスに変えると。行革は救いの神の手か。行革の理念は何か。

町民に我慢と負担の押しつけ。財政厳しいから何もせざ耐えるを求める町政でいいのか。

答 福祉への思いを語り、才までは自宅保育だ。幼保一元化では、福祉の質を低下せ、切り捨てるものだ。

直し、所信表明の8つの誠実を一つ一つクリアすることを、幸せな町を実現したい。行政改革で事業を取捨選択することにより、期間も短くなつてくる。

新たな取り組みで、恩恵を受けるものもある。それが行革のステップである。税収に見合ったバランスのよい行政運営で、町民の皆さんに喜んでいただける施設をすすめていく。

福祉事業や保育事業関係は、必要なものなどを見極め検討していく。

問 町長のビラは「今すぐの合併は考えてない」だが、自立のまち・幸田の確たる信念がうかがえない。いずれは合併し、愛する幸田町を投げやり、消して



町の中心部

だ。無くて選択の道を残すものだ。
幸田町は、手の平に乗り、住民の顔が見え、台所、暮らしが見えるまちだ。

近隣市にお世話になつてゐる感覚は、自立に誇りと自信が持てぬ表明であり、卑屈である。

町として持続可能で、頼の見える行政がやれることが一番いいと痛感している。

自立のまち、幸田の信念を問う。

答 今すぐ合併は考えてない

答 合併問題は、近隣市と本町の行政水準がどの位置にあるかを一番根底に置いて考えていく。

将来的には、すすめざるを得ない時期が来ることも予測される。しかし、今すぐの合併は考えてない。

町として持続可能で、頼の見える行政がやれることが一番いいと痛感している。



大須賀 好夫 議員

問 新町長の政治姿勢と公約実現を

答 「8つの誠」を実行する



老人クラブの運動会

(1) 本町の舵取り役として、手腕を大いに期待するが、その指針となる政策の実現は。多くの公約のうち、行政刷新・行政改革などを進めることを期す。

(2) 求める声は多いが、具体策と府内の機構改革をおこなう考えは。

(3) 広域行政の重要性は一段と増すと考えるが、関係市と合併を協議していく考えは。

(4) 3万8000人の町民が夢と希望を享受し、内外に自慢できる町づくりを町民にどうすすめていくのか。

(1) 財政運営を重視し、IT化の推進と行政サービスの充実で事業をすすめる。清潔で機動力あふれる町政を推進していく。

(2) 先例の踏襲主義を改め、事業の必要性を検討し、事業仕分けをする。全般的な組織体系も新しいニーズであり、職員の能力が出せる組織を検討する。

(3) 現在、合併は考えていない。

(4) 住んでいる人が満足する幸せな町、ほつとすると町を構築するため「8つの誠」を実行していく。



平成20年8月末豪雨で広田川が決壊

問

子宮頸がんワクチンの助成を

答

近隣の動きをみていく



水野 千代子 議員

住民の健康管理の意識を高めるとともに、経済的負担を軽減するため、以下を問う。

(1) 女性特有の乳がん・子宮頸がんが急増している。早期発見・治療のため、乳がん・子宮頸がん検診の無料クーポン継続を。

(2) 子宮頸がんは、予防ワクチンが承認されてい

る。12歳ごろに3回接種が必要であり、負担軽減のため公費助成を。

(3) 前立腺がん検診に、無料クーポンを。

(4) 小児の細菌性髄膜炎を予防するビブワクチンの助成を。

(5) がん検診率向上の取り組みを。

町長 (1) 国の方針、

近隣の状況、予算をしんしゃくし、継続方針で検

(1) 育児放棄による虐待や死亡事故を防ぐため、さまざまな子育て支援が必要である。

(2) 業・相談窓口の充実を。男性職員の育児休暇を取り得できる環境整備で、育児に参加を。

(3) 0～3歳児の自宅保育への支援を。

(4) 保護者のニーズに合わせ、休日保育・病児・病後児保育の実施を。

問

休日保育の実施を



胃がん検診

なるべく早く
実施したい

答

健康福祉部長 (1)

昨年度は、「こんにちは赤ちゃん訪問事業」で4カ月までの乳児356件すべてを訪問した。

参事 町では、子育て支援センター・民生児童委員・人権擁護委員・教育委員会などで対応している。NPO法人にも相談窓口がある。

総務部長 (2) 取得期間中は無給となり、本町では考えにくい。

町長 (3) 「こんにちは赤ちゃん訪問事業」の拡大版を考えている。

(4) わしだ保育園の増改築に併せて検討していく。



丸山 千代子 議員

問 保育園民営化は公的責任の放棄

答 保育と雇用の安定化はかかる



坂崎保育園運動会

問 「子どもたちが未来に羽ばたく町」と公約した町長の子育て支援と保育施設を問う。
保育一blesに対応するのが、なぜ保育園の民営化になるのか。公的責任の放棄ではないか。

18歳未満の子どもは均等割税される。
所得に占める国保税の比率は、低所得者ほど高い割合で支払い能力を超える。均等割は、生まれると見えないと悲鳴があがつている。

子どもの国保均等割なくせ

問 国民健康保険税は、高すぎて払いたくても払えない」と悲鳴があがつている。生まれた瞬間から、保険給付などの益を受ける以上、ゼロにはならないというが、国民健康保険であり、軽減の考えはない。

(1) 「子どもたちが未来に羽ばたく町」と公約した町長の子育て支援と保育施設を問う。
保育一blesに対応するのが、なぜ保育園の民営化になるのか。公的責任の放棄ではないか。

(2) 幼保二元化は。
(3) 休日保育・病後児保育はどうすすめるのか。
(4) 0～3歳児の自宅保育の支援とは。
(5) 児童クラブの充実と力

問 「子どもたちが未来に羽ばたく町」と公約した町長の子育て支援と保育施設を問う。

答 町長 (1) 民間でやれば民間でという考え方。民営化で職員の雇用、待遇改善や保育の安定が図れる。

(2) まだ考えていない。
(3) ニーズは認識している。いろいろな意見を聞く。
(4) 巡回保育士的な人を働き、子育て・保育の支援を考えている。
(5) 職員体制、指導員の役割や定員問題は、ほかの施設の利用を検討するなど、状況をみながら判断していく。

答 健康福祉部長 (1) 民間でやれば民間でという考え方。民営化で職員の雇用、待遇改善や保育の安定が図れる。

(2) 0～18歳未満の1080人の均等割、年3万400円(医療分と後期分)の廃止は30000万円あれば実現できる。

軽減の 考えはない

答 健康福祉部長 昨年から10000万円の繰り入れをしており、しばらくはこの水準でいきたい。

問 国民健康保険には、事業主などからの負担金が入っている。国民健康保険の広域化も検討されており、しばらくはこの水準でいきたい。
協会けんぽ、組合健保には、事業主などからの負担金が入っている。国民健康保険には、国・県が5割相当分の予算を投入している。



酒向 弘康 議員

問

どうすすめる「事業仕分け」

答

町民参加で公開する



高浜市での事業仕分け

産業振興策は緊急課題だ

問 公約の「町経済を支える産業の活性化と産業基盤の充実」を問う。

(1) 税収をばす「自主財源確保」の考え方。

(2) 「産業振興施策」の取り組みの考え方。

(3) 町内産品の「高付加価値化、ブランド化の維持拡大」の取り組み。

(4) 企業誘致や新産業創造への取り組みの実績と成績は。

(5) 計画的な工場用地の確保や手立ての考え。

(6) 町が目指すべき、「定住化施策」の考え方。

幅広い分野の業種を誘致したい

答 (1) 徹底的な行政改革と農業振興、新規産業の誘致したい。

(2) 景気の動向に左右されないよう、新産業など幅広い分野の業種を誘致していく。

(3) 生産者と市場関係者が協力し、商標名をとるなどして販売に努めていく。

(4) 企業誘致をすすめることで安定収入の確保、雇用の機会も確保してきた。

(5) 交通アクセスの利点を生かし、環境整備をすすめたい。

(6) 魅力あるまちづくりを目指していく。

- 問 所信表明の「徹底して無駄を省き、ピンチをチャンスに変える」行財政改革を問う。
- (1) 財政状況の認識と「行政改革」の決意は。
- (2) 所信表明した「事業仕分け」の思いは。
- (3) 「事業仕分け」は、「経費捻出の手段か、町民、職員の意識改革のための手段」か。
- (4) 事務事業評価は、継続するのか。
- (5) 「事業仕分け」導入実施の時期といつの予算から反映されるのか。
- (6) 住民の声を聞き「本当の無駄」を見極め推進をする。

- 答 町長 (1) 財政が厳しい中、健全で次世代につながるよう取捨選択をすすめていく。
- (2) 自治体が生き抜くため

- (3) が一番大事である。外部からの評価を考える。
- (4) に、町民の皆さんに関わってもらい、実態のある仕分けをすすめる。町民や職員の意識改革

- (5) ている。
- (6) 次年度予算に計上し、早期実施を目指したい。仕分けの方法は、今後調整していく。

- (6) 保や手立ての考えは。
- (5) 計画的な工場用地の確保や手立ての考え。
- (4) 企業誘致をすすめることで安定収入の確保、雇用の機会も確保してきた。
- (5) 交通アクセスの利点を生かし、環境整備をすすめたい。
- (6) 魅力あるまちづくりを目指していく。

- 答 総務部長 (1) 徹底的な行政改革と農業振興、新規産業の誘致したい。
- (2) 景気の動向に左右されないよう、新産業など幅広い分野の業種を誘致していく。
- (3) 生産者と市場関係者が協力し、商標名をとるなどして販売に努めていく。
- (4) 企業誘致をすすめることで安定収入の確保、雇用の機会も確保してきた。
- (5) 交通アクセスの利点を生かし、環境整備をすすめたい。
- (6) 魅力あるまちづくりを目指していく。



大嶽 弘 議員

問 道路上の樹木伐採対策は

答 パトロールで維持管理



交通の障害となる樹木

（3） いく。
町長 従来同様やつ
具体的にはない。

（2） 情報交換はしているが

（1） 当局からみた町の長所と課題をどのようにみているか。
（2） 緑の景観は必要と考えるが、交通安全面からみて道路上に生い茂る大きな樹木の枝は危険である。
（3） 交通安全対策を近隣市町と比べ、水準をどう評価しているか。

（1） 危険個所の把握と対策はどうのよにおこなっているか。
（2） 親切班の行政パトロールと環境パトロールを常時おこなっている。
（3） 12人体制で維持管理して伐採作業など、親切班

（1） 地域主権の意味は。本町からみたこのメリットとデメリットは。時代のあり方がマスクミニによく出る。
（2） 産業振興、文化教育など各方面で近隣市町と新たに連携する事業は検討しているか。

（1） フ月のふるさと町民講座で、恵まれた幸田の現状が語られた。
（2） 当局からみた町の長所と課題をどのようにみているか。
（3） 緑の景観は必要とを考えるが、交通安全面からみて道路上に生い茂る大きな樹木の枝は危険である。
（4） 交通安全対策を近隣市町と比べ、水準をどう評価しているか。

（1） 災害に強いまちづくりをしていく。
（2） 親切班の行政パトロールと環境パトロールを常時おこなっている。
（3） ほかの市町には劣っていないと自負している。新たな取り組みとして、小学校周辺の通学路

のグリーンベルト化などにも取り組んでいます。

（3） 今年の夏まつりイベントは好評であった。
今後の各種イベントの開催方針は。

地域主権とは

建設部長 (1) 地形

の変化が多岐にわたっているため、バランスよく住宅団地や工場誘致ができる。

地域のことは 地域で決める

総務部長 (1) 地域

のことは地域で決め、実施することが地域主権の基本。自由な発想で行政運営ができ、権限移譲によって手続きが簡素化される。一括交付金という使い勝手のいい財源が確保できるが、毎年予定どおり確保できていくか問題がある。計画立案の能力が自治体に問われ、事業の失敗の責任も取らなければならない。

（1） 今年の夏まつりイベントは好評であった。
今後の各種イベントの開催方針は。

問

新駅名を「しあわせ高」駅に

答

「相見駅」を基本に調整



山本 隆一 議員

問

4つの川が、高力地内で合流している。昔の土呂街道（現福岡町）には橋もなく、村人は船で渡り不便をしていたが、当時の大草神社宮司の高橋さんといわれた方が、私費で橋をかけ、その橋を「高橋」と名付けられた。

(1) 今の世知辛い世の中、この人情話しを全国に伝えるため、新駅の名前を「しあわせ高」または「幸高」としてはどうか。
(2) 既存の幸田駅の呼称「こうだ」を「この際」「こうた」とすることを提案する。



新駅の完成予想図

答
総務部長 (1) 新駅
誘致は、明治以来の悲願。平成19年3月にJRと基本合意し、平成23年度末開業に向け事業を推進中である。
「(仮称) 相見駅」という相見の名称を使ってお

(2)
り、「相見」を基本に調査して、JRが最終決定する。
として億単位の負担も想定されるので、確認の上検討していく。



開発の進む相見地区新駅周辺



池田 久男 議員

問 農業の活性化施策は

答 地産地消・特産品のPR



道の駅で特産品の販売

(1) 農業体験・職場体験・施設見学など、体験活動の促進は。う。地元農業資源を生かし、地域の活性化を図ることが急務である。本町の対策を問う。

(2) 食育推進運動の積極的な導入を。

(3) 特産品のPRと栽培農家の育成は。

(4) 中高齢者の新規就農の活用は。

(5) 学校給食に、地元農産物の提供と米粉パンの推進を。

(6) 「道の駅」を地域づくりの拠点に。

(1) 広報紙、ホームページでPRしている。COPでPRする。10でもPRする。

(2) 画面の目標に向け働きかける。

(3) 加工品の開発活動に助成制度を設け、育成している。

(4) JAの農業塾開催でマンパワーを期待している。

(5) 平成18年度から無償米を年1回使用してきたが、今後の計画はない。

(6) 人づくりの面からも非

常 に 有 効 な 施 策 と 考 え て い る。

問 本町の工場誘致は、先人の苦労で昭和40年代から、積極的な誘致がはじまり、優良企業誘致に成功した。

町の財政、人の定住化で大きな成果があがり、現在産業基盤も整備されつつあり、幹線道路・生活道路の渋滞も解消に向かっている。さらに新しい企業誘致もすすめるべきである。

さらなる企業誘致を

地産地消の推進で、学校では、野菜類の収穫、調理実習、農家訪問などをおこなっている。

答 環境経済部長 (1)

常 に 有 効 な 施 策 と 考 え て い る。

先端企業で展開

答 総務部長 (1)

特定な業種に偏ると、景気の変動で税収面での影響が大きい。

今後は、将来性のある先端企業・次世代自動車関連企業など異業種を考えていきたい。

(2) 工場用地は、従来、引き合いかつてから確保してきたが、今後は、用地をストックできることが好ましい。財政事情もあり、今のところ民間開発を中心で対応する。地の利を生かした展開をする考え方である。

(1) 新産業、新規事業の誘致計画は。(2) 経済不況下での誘致活動は。

委員会レポート

閉会中の各委員会活動状況

総務



役場事務室

A 平成22年度人事院勧告で、民間の年間支給割合と見合うよう、期末手当が0・2月分引き下げられた。

Q 影響額と対象者は、トータルで概算2400万円、40歳以上160人、55歳以上の給与減額人員は40人いる。

Q 年間給与の引き下げ額は。

A 年間影響額は妻、子2人で7万9835円。

Q 55歳以上の部長級は、

A **Q** 共同運用はいつからか。平成30年ごろを予定している。

Q 消防の広域化をすすめている。

A **Q** 広域化の実現とは別と考へている。

消防救急無線の共同運用を示す。

消防救急無線のデジタル化に伴い、県内11ブロックに分けて整備される。岡崎市、幸田町のブロックの共同運用を目指す。

8月11日 協議会開催

約10万9000円の減額となる。

職員の給与 引き下げ

子ども権利条例 策定に向けて

文教福祉

A **Q** 子どもの対象年齢は、条例では18歳未満とする。

A **Q** 制定のめどは、平成22年度内に条例提案する。

A **Q** 子どもワークショップの具体的な取り組みは、各中学校で1回、幸田高校で1回、合同ワーク

「児童の権利に関する条約」の理念に基づき、子どもの権利を保障するため、条例の制定を位置付ける。

Q 国の史跡指定は寺域全体の史跡指定を寺域全体にする費用は。

A 私有財産を外し、約7600万円を見込んでいる。

Q 国の史跡指定は確実にできるか。

A 文化庁の指導で調査し、平成25年度に国へ申請をする。

8月9日 協議会開催

ショッピングモール「子ども憲章草案」を検討する。



開催された子ども権利条例シンポジウム

地球温暖化 実行対策を充実

産業建設

8月10日 協議会開催

ISO14001および
地球温暖化対策実行計画の
実施状況



水切りネットで一絞り

7月15、16日の2日間、
長野県伊那市、山梨県大月
市、神奈川県二宮町を視察
した。

伊那市
総合型農業公園

農業者の高齢化、担い手
の減少、耕作放棄地の増加
など、農業生産力の維持が
困難となつた。市とJAで
農業支援体制をとり、平成
12年に総合型農業公園を開
園した。年間入園者は76万
人にもおび、農業・観光

総合型農業公園 など視察



伊那市の農業公園

事業の活性化に大きく貢献
していた。

大月市
駅周辺整備事業

大月駅周辺の空洞化が進
み、まちの再生を図るため、
まちづくり交付金などを活
用した事業を実施。駅前の
ロータリーを整備するとと
もに景観を配慮した事業を
すすめていた。

二宮町
ごみ減量50%の取り組み

大型ごみや可燃ごみの処
理を、ほかの自治体に外部
委託しているため、ごみ減
量の50%削減を大きな目標
としている。当面の具体的
な施策として、生ごみの水
切りネットを支給し、減量
化を推進していた。

こうた 議会だより

ありのままに
わかりやすく

議会広報



アイリス愛知にて研修

名古屋で
研修会に参加

7月23日、アイリス愛知にて、広報コンサルタントの深澤徹講師を迎えた、第24回愛知県町村議会広報研修会に参加しました。

県内22市町の広報委員が、広報づくりを学びました。その中で、私たちの講評としては、「内容・技術ともに第一級の議会広報」といううれしい言葉もいただきました。

8月30日、新聞の編集を教材に、見出しやレイアウトなどをプロに学びました。

講師から、「見出しが重複する言葉はやめ、文章度に」「記事は、短い文



講師からガイドブックを

講師 中日新聞社 整理部デスク 牧 洋一 氏

新場で
新聞のプロに学ぶ

政務調査費 のゆくえ

政務調査費とは、議員が通常の議会活動とは別に、それぞれの会派または議員個人が、議員としての知識向上や見聞を広めたり、資質向上を図るために交付される調査研究費です。

幸田町では平成16年4月から交付されています。

交付額は1人年額6万円となっており、研究研修費、調査旅費、資料費、広報費、公聴費などに限定され、収支報告書にはすべての証拠書類などの写しを添えて報告することとなっています。

平成21年度の収支の主な内容は、次のとおりです。

会 派	所属議員名	事業費(円)	政務調査費 交付額(円)	主な使途	調査内容
清友会	下表の とおり※	31万3010	30万	調査研究視察費 (香川県綾川町・徳島県 つるぎ町・兵庫県淡路市)	・総合保健施設「えがお」 ・道の駅 貞光ゆうゆう館 ・北淡震災記念公園
日本共産党 幸田町 議員団	伊藤 宗次 丸山千代子	12万6572	12万	調査研究視察費 (石川県羽咋市、珠洲市、 七尾市、滋賀県野洲市、 近江八幡市、山形県米 沢市、福島県郡山市、 千葉県野田市)	バイオマスメタン発酵施 設、地域住宅計画、地区 計画、まちづくり基本条 例、環境基本条例 市民活動サポートセン ター設置事業、公契約條 例制定、父子手当の取り 組みなど
新政クラブ	鈴木 修一 内田 等	14万1942	12万	調査研究視察費 (福島県須賀川市・栃木 県那須町) 資料購入費 (電子辞書、プリンター)	・浜尾遊水地 ・道の駅 那須高原友愛の森 ふるさと物産センター ふれあいの郷直売所
新政会	杉浦 務 黒柳 広治	15万3464	12万	調査研究視察費 (福島県須賀川市・栃木 県那須町)	・浜尾遊水地 ・道の駅 那須高原友愛の森 ふるさと物産センター ふれあいの郷直売所
－	足立 嘉之	7万6732	6万	新政会と同じ	新政会と同じ
－	笹野 康男	7万6732	6万	新政会と同じ	新政会と同じ
－	水野千代子	6万4260	6万	調査研究視察費 (群馬県高崎市・滋賀県 大津市・京都府亀岡市)	・全国女性議員サミット ・地球温暖化防止 ・「命の力プセル」配布 事業
－	酒向 弘康	6万1050	6万	資料購入費 「地方議會議員活動デー タファイル・地方自治 体情報誌ほか」 調査研究視察費 (滋賀県草津市)	・全国自治体の独自性あ る事業や施策に関する 収録情報の調査研究 ・事業仕分け
－	鈴木三津男	6万2600	6万	清友会と同じ	清友会と同じ

※

清友会	鈴木 博司・夏目 一成・大須賀好夫・池田 久男・大嶽 弘
-----	------------------------------



荻谷小学校6年
小笠原 暉くん



坂崎小学校6年
鈴木亮佑くん

あい・らぶ・マイタウン

ぼくたちは、地域の方に教えていただきながら、坂崎の竹で竹炭も焼きました。

1学期には、神社や駅、どんな学区にしたいかについて話し合い、楽しくてごみの落ちていない学区になるよう、活動することになりました。

ぼくたちのグループは、学区のごみ拾いをすることになりました。

くたちは、荻谷小6年生は、総合の時間にどんな学区にしたいかについて話し合い、楽しくてごみの落ちていない学区になれるよう、活動することになりました。

公園などに行つてごみを拾いました。2学期になってもう一度行つてみると、またたくさんのごみが落ちているところがありました。せっかくごみ拾いをしたのに、残ねんな気持ちになりました。



楽しくきれいな町に



昔、たくさんの生き物がいて、きのこがたくさん採れた里山が坂崎にはあります。ぼくたちは、自然豊かな里山を取りもどそうと活動をしています。

また、ぼくたちは、地域の方に教えていただきながら、坂崎の竹で竹炭も焼きました。

自分の住む町を大切にしようとすると人がたくさんいる幸田町。ぼくは、人と人がつながっている幸田町が大好きです。



す。特に、駅の近くにごみが落ちていたら、初めて幸田町に来た人にきたない町だと思われてしまいます。これからもごみ拾いを続けたいです。

編集後記



今夏の猛暑で「熱中症」など体調を損なう人が続出し、暑さ対策が課題となりました。学校や保育園のエアコン設置など、暑さに強い町づくりが求められています。暑い夏を勝ち抜いた大須賀町長の初議会は、選挙公約や政策実現に対する質問に、8人が登壇しました。

ごみがたくさん落ちている町より、きれいな町の方々が過ごしやすいと思いま

ました。

幸せな町にするためには、住民の福祉・暮らし・教育の充実を願うもので

議会だよりも、わかりやすく、ありのままに、お伝えすることができるよう頑張ってまいります。

どうぞ♪愛読ください。（丸山千代子）

あなたも議会を傍聴してみませんか

12月定例会、本会議の予定です。

●会期の日程

- | | |
|----------|----------|
| 12月2日（木） | 開会、議案の説明 |
| 6日（月） | 一般質問 |
| 7日（火） | // |
| 10日（金） | 議案の質疑 |
| 13日（月） | // |
| 22日（水） | 討論、採決、閉会 |
| ●場所 | 役場5階 議場 |
| ●時間 | 午前9時から |
- ◎詳しくは議会事務局へ
☎63-5151（直通）